

個別指導の現状や課題等で討議 北信越ブロック会議の分科会

1 面記載の保団連北信越ブロック会議の全体会議に続いて医科と歯科に分かれて開かれた分科会の討議内容を紹介する。

歯科分科会

次回診療報酬改定に向け
感染対策など中心に意見交換

歯科分科会では、①診療報酬改善を求める厚労省要請の具体化②「か強診」をどう見るか、政策的評価と会員、現場の目線から③個別指導の現状と課題④その他、各県の特徴ある取り組みの交流、の4点について意見交換が行われた。

まず、診療報酬改善を求める厚労省要請の具体化については、各協会が出されている要求案をもう少し絞るべきだとする意見のほか、歯科の初再診料は高かった

という歴史を踏まえて、初再診料を上げることから始めるのも一つの手では

ないかという意見が出された。また、池上長野協会常任理事は、マスコミ報道で再燃したハンドピース滅菌問題を「追い風」としてとらえ、「感染予防対策費」を点数化させる動きを保団連として作ってほしいと発言。使い捨てのリーマーやファイルを導入する場合やタービンの交換を2年毎に行うなどの場合、莫大な費用がかかるという実情を世間にアピールし、点数化の要望を上げることが急務であると訴えた。

次に、改定から一年が経過し、「か強診」が一定程度普及した現時点における課題について協議した。「か強診」については、口腔外バキュームやAEDなどを購入できない医院もあり、「か強診」届出医療機関と未届の医療

保険医療機関の新規動向

関東信越厚生局のホームページで公開の保険医療機関指定状況から長野事務所関係の医科と歯科の新規指定分(開設管理者の交代や遡及、移動等を除く)を紹介している。7/1～7/31間は、医科3件。(氏名敬称略)

機関との間に格差が生まれてしまう問題がある。しかしながら、増点につながっている医療機関もあるため、一概に廃止すべきとするよりも、内容を緩和する方向を打ち出すべきだとする意見が出された。一方で患者の立場では、「か強診」届出医療機関は自己負担が高くなり通院しづらいという声もあるとの報告もあった。

個別指導の現状と課題については、各協会・医会から指導件数や平均点数に関する報告がなされた。個別指導に関しては会員の関心も高いため、今後も積極的に情報収集・情報提供し、必要に応じて厚生局に改善の要請を行っていくことが確認された。

各県の特徴ある取り組みの交流では、池上常任理事からケアマネジャーや介護福祉士との勉強

会の取り組み、林長野協会常任理事から「保険でより良い歯科医療」における「歯の何でも電話相談」事業や「歯の供養祭」に関する報告が行われた。供養祭では入れ歯や抜去歯の供養が善光寺大勧進(長野市)で行われ、金属は精錬して難病団体に寄付される。供養祭では、亡くなった家族の入れ歯の保管に困っていた参加者から感謝の声が寄せられたと紹介した。また、奥山長野協会常任理事からは市民公開講座「いい歯と健康」の催しについて報告。昨年11月に植田耕一郎日大

歯学部教授の講演や歯科衛生士によるブラッシング指導を行い、好評を得たと伝えた。

分科会で発言をする林常任理事

医科分科会

北信越ブロックによる
厚労省要請を中心に意見交換

医科分科会では、①在宅医療点数をめぐる厚労省要請まとめ、②「在宅医療アンケート」のまとめと今後の活用、③個別指導・適時調査の現状と課題、④その他、各県の取組と交流についての4点を中心に意見交換が行われた。

在宅医療点数を巡る厚労省要請のまとめについては、2017年1月26日に実施した北信越ブロックによる厚労省要請の概要、及びこの間の成果について事務局より報告。その後、当日要請に出席した役員から感想やブロックとして活動を継続していくことの重要性が述べられ、今後も粘り強く要請活動を継続していく方向性が確認された。

「在宅医療アンケート」のまとめに関してはアンケート結果の概要を長野協会より報告した後、意見交換。現場から寄せられた貴重な事例、意見を今後の厚労省要請に活用していくことを確認した。また、アンケート結果の要求案への反映及び紹介議員の確保・厚労省との連絡調整は、1月の要請行動に引き続き長野協会が担当することを確認した。

個別指導・適時調査現状と課題については各県の個別指導、適時調査の実施状況や開示資料の活用方法等につい



医科分科会の様子



懇親会で挨拶する宮沢会長代行

て説明され意見が出された。長野協会からは、選定理由として情報提供は少ないが高点数に関しては真面目に行われている。平成23年から有床診療所の適時調査が行われているが1巡したためか平成28、29年は診療所の計画が0になっていること。病院はマニュアル通り2年ごとに行われていることなどが報告された。

各県からの特徴のある取組として、長野協会からは

「福祉医療給付制度」「国保の都道府県単位化」「地域医療構想、医療提供体制」の3点について報告された。福祉医療給付制度については長野県の現在の実施状況、2018年8月を目途に現物給付を導入。長野協会が加盟する福祉医療給付の改善をすすめる会より長野

県に対し窓口完全無料化を求める署名提出や要請を行ったこと。国保の都道府県単位化については長野県の方針や今後対応方針を、地域医療については長野協会が独自に行った患者、医療機関への地域医療に関するアンケート結果などを報告した。他県からも福祉

医療費や地域医療構想に関すること等の他に、医科歯科の連携推進キャンペーンや福祉マップを使った学習会について等が報告された。

最後に富山協会の大澤副会長より、各県からとても参考になる意見が出て良い分科会になった。今後も今回の意見を活かしていきましょと締めくくられた。

税務・経営電話相談

県保険医協会の「税務・経営電話相談」は、顧問税理士の土屋信行氏により、次の通り実施しています。

◆平日の受付時間

10：00～12：00、13：00～16：00

◆受付電話 0269-33-3265(しらかば会計事務所)

なお、土屋税理士(写真)が不在の場合は会員である旨と連絡先を伝言下さい。改めて税理士の方から連絡を致します。



	診療科名※1	郵便番号		電 話	開設者・管理者※2	従事者※3	病床	指定日※4
ふくおか耳鼻咽喉科めまいクリニック	耳い アレ	381-0025	長野市北長池1601番1	026-217-3387	個人・福岡 久邦	常勤1	無	2017/8/1
あさむら耳鼻咽喉科クリニック	耳い	386-0041	上田市秋和304-5	0268-28-8733	個人・浅村 賢二	常勤1	無	2017/8/1
甘利医院わだ	内 他 小 循環器内科 感染症内科	384-0093	小諸市大字和田841-7	0267-26-5500	[開]医療法人 清秀会 理事長 甘利 秀夫 [管]甘利 悠	常勤1 非常勤3	無	2017/8/1

※1診療科名は略記載。 ※2開設者が個人の場合は開設・管理者は同一。 ※3従事の形態で病院・診療所は医師数、歯科併設は区分明記、歯科診療所は歯科医師数。 ※4指定期間は指定日より6年。